

東日本大震災 関連情報（第 31 報）

平成 24 年 7 月 日
全国老人クラブ連合会

東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

●被災地における情報

○ 盛岡市老連特別出演、ファッションショーで盛り上がった芸能祭

〔岩手県 大槌町老人クラブ連合会〕

昨年は実施できなかった芸能祭ですが、みんなが元気になるためにまず自分たちで楽しいことをやろう、また先輩たちが創りあげたことを続けなければという思いで、開催を決めました。集まる場所もないなかで出演希望があるか心配しましたが、1クラブ2演目という枠を超えて希望が出されるほどで、みんなが楽しみにしていることがわかりました。

6月16日に開催された芸能祭は、約400人が参加、29演目が出演しました。特別出演として盛岡市老連から30名が応援にかけつけ、さんさ踊りを披露してくれました。もう一つ、梅木ソーイング（裁縫教室）によるファッションショーは会員がモデルとして出演、ウェディングドレスも着て大いに盛り上がりました。

（別紙「岩手日報」6月17日参照）

○ 仮設住宅に暮らす被災者とグラウンドゴルフで交流

〔宮城県登米市 南方町老人クラブ連合会〕

南方町老連では、登米市内の仮設住宅で暮らす被災者を招いて、グラウンドゴルフ交流大会を5月24日に開催しました。参加者は被災者15人と老連会員210人でした。

（別紙「河北新報」6月1日参照）

○ 震災を機に、市老連だよりを発行 〔宮城県 岩沼市老人クラブ連合会〕

岩沼市では震災の影響で4クラブが解散、2クラブが休会となりましたが、復興に向けて支援していきたいと考えています。市老連では昨年6月から新役員体制のもと、仮設住宅入居者への支援を重点的に行ってきました。具体的には、芸能の集いへの招待、女性部員手作りによる「エコタワシ」、地元企業に協力いただいた正月福袋、生みたて卵の配布、また全国から寄せられた元気袋の配布です。そして今年1月には、第1号の「いわぬま市老連だより」を発刊しました（別紙参照）。

○ スイスの支援に感謝し、町を明るくするシバザクラの花文字

〔宮城県 女川町老人クラブ連合会〕

女川町では、スイスの支援により町唯一の医療機関、地域医療センターが再建されました。女川町老連では、震災にあった町を明るくきれいにしよう、併せて支援への感謝の意も込めて、町の斜面にシバザクラ 12000 鉢で「We♡女川」の花文字を作ることと呼びかけました。活動は、東京に本部を置く「フェニックス救援隊」との共催です。作業当日は、老人クラブ会員はじめ町の人たち 70 名余と東京から 30 名余も参加しました。後日、スイスの方たちを迎えた時には、駐日スイス大使から「『We♡女川』の文字を見ました。私たちスイス人も女川を愛しています」と挨拶があったそうです。（別紙 呼びかけチラシ、花文字作業前写真参照）

○ 町老連総会で宣言

〔福島県 双葉町老人クラブ連合会〕

原発事故により町外へ避難している双葉町では、6月1日に総会を開催して、今年度の事業、予算を決定しました。主な事業は9月の「老人クラブ再会のつどい」と、町の委託を受けた手芸教室と友愛訪問です。手芸教室は県内5か所の仮設住宅集会所を中心に開催、友愛訪問は仮設住宅と借り上げ住宅における実施を計画しています。

また例年大会で行っている宣言も決定しました。

- 一 全国・県内からの老人クラブへの支援・援助に感謝します。
- 一 自らの生きがいを見つけ、健康づくりに励みます。
- 一 地域の一人暮らしや高齢者の見守り活動をします。
- 一 組織の存続と活動の再開に努力します。

総会には、町長、町議会議長代理、町住民福祉課長、県老連事務局長も参加して、より一層関係機関との連携をとっていくことも確認されました。



●支援・交流活動

○ 福島の避難先における交流

〔新潟県 村上支部老連女性部 ⇒ 福島県 葛尾村老連〕

葛尾村は、原発事故により三春町に避難しています。そのサポートセンターへ、新潟県村上支部老連女性部 15 名が訪れ、葛尾村老連会長、女子委員長はじめ 15 名と交流しました。対面式のあとは4グループに分かれて、村上地方名産の笹団子作りです。鍋や笹などの材料はすべて村上から持参、約1時間かけて皆で作りました。昼食の後は、両連合会声を合わせて合唱、踊りの披露など時を忘れて盛り上がり、初めてお会いしたのに旧知の仲のような絆が芽生えました。最後に、星影のワルツをみんなで涙ながらに歌い、別れを惜しまました。

秋の葛尾村老連の旅行では、ぜひ村上へ伺いたいと伝え、再会を約束しました。



○ 被災地から愛媛県老人クラブへ交流の旅

〔宮城県 女川町老連 ⇒ 愛媛県 久万高原町老連〕

女川町老連では、震災後、クラブの解散もあるなか、引きこもりを防ぐためにも老人クラブの意義は大きいと、町内の高齢者を対象に、愛媛県老人クラブとの交流を含む四国への旅を計画しました。2月20日～22日の旅には35名が参加、21日に愛媛県久万高原町老連と交流を行いました。双方の老連や婦人部、単位クラブの活動状況を紹介して、有意義な会になりました。

(久万高原町社協のブログ参照)

<http://kumashakyou.cocolog-nifty.com/blog/2012/02/post-9293.html>

〔今後の交流活動情報〕

○ 兵庫県老連

- ① 市町老連会長研修会（7月18・19日）に、福島県広野町老連会長が講演予定（テーマ：震災被災クラブ再建をふまえ、老人クラブを考える）
- ② 高齢者の集い（9月21日）に、福島県檜葉町、大熊町の老人クラブがサークル活動を発表する予定（兵庫県老連招待）

**みんなで
シバザクラを植えませんか？**

寒い冬が過ぎて、ようやく暖かい春がやってきます。
女川町地域福祉センター裏の法面に、シバザクラ 12,000 鉢で
「We♥女川！」とメッセージを発信し、町を明るく、きれいにしよ
うと思い、企画しました。

参加できる方を募集しています。
参加できる方は、3/15(木)まで下記連絡先までお電話下さ
い。お待ちしております。

記

日 時 平成24年3月28日(水)
午後1時～4時くらいまで

集合場所 女川町地域福祉センター裏(熊野神社入口)

持参物 軍手、水、タオル、ショベル(持っているとき)

連絡先 女川町社会福祉協議会 (53-4333)

主催:女川町老人クラブ連合会 共催:フェニックス救援隊(本部:東京)

